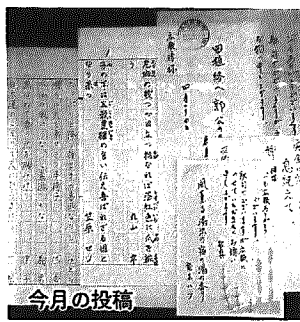


# 街かど

●募集しています

- ・短歌
- ・俳句
- ・詩
- ・随筆
- ・イラスト
- ・写真
- ・まんが
- ・その他

●町への意見や要望も受け付けます  
 ●文章は苦手という方は連絡を取材に行きます  
 ●匿名も可です  
 ●投稿・連絡先は  
 黒崎田大野2843-1  
 広報「街かど」係  
 ☎377-3101



今月の投稿

## 短歌

黒崎短歌会

休みとして子の買いくれし豆餅の二つ三つをべろりといたたく 柴垣 幸  
 老斑の幾つか目立つ指なれば薄紅色に爪を縫う 丸山 幸  
 子の年は五穀豊稔の言い伝え喜ばれざる国となり果つ 笠原 セツ  
 重々と川砂積みし長舟が早春の大川悠々くたる 泉井 ヨ子  
 染付けの水指に画く菖の口もと愛し今か鳴くらむ 竹中千代子  
 孫来れば妻は料理に気を入れて味うまうまも血数も増す 大坂 一  
 明日嫁ぐ吾娘と一つの宿にいて式のこののみ話して終る 阿部 淨子  
 春浅き庭の大樹の枝毎に淡雪降りて桜咲くこと 大矢 キイ  
 鮭の稚魚小さき命の旅立を母なる川に委ね放せり 永田キヨエ  
 人生の終りに近し呆けぬまに自己を綴りて詠み残したし 山田 卯八  
 「今少し」と多勢の人に惜しまるる働き者の夫の死悼む 大谷 モト

## 歳時記

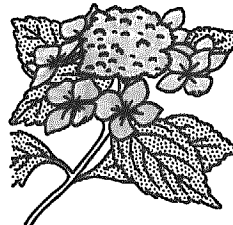
お中元といえは、お盆のころの贈り物のこととだれもが知っています。でも、中元ってどういう意味でしょうか。  
 中元というのは、中国の道教からきた言葉で、一月十五日が上

## お中元

元、十月十五日が下元、その間の七月十五日が中元です。上元に生まれて福を与える神が天官、下元に生まれて水火の災いを防ぐ神が水官、中元に生まれて善悪を分別し、人間を愛して罪を許す神が地

彼岸にも淡雪降れとおのずから山の肌をあからみて見ゆ 小出美喜子  
 不況という波のうねりに人減らし臨時パートが先ず首となる 長谷川トトリ  
 父逝きて住む人絶えし広庭に風花舞いて山茶花の散る 上山 啓子  
 俳句 黒崎俳句会  
 蕭々と蕭々と花咲きふゆる 耕歌(講師)  
 鋼板の猫の眼蒼し花の冷え トシ子  
 北上の流れゆたかに啄木忌 とし松  
 花冷えや四十九縁の忌に坐る 文雄  
 四五人の輪となる日和り桃の花 みよし  
 たつぷりと降り種まきの喜雨なり し みどり  
 鳴りに夫を乗せよう車椅子 代香  
 水仙の風になつく素振りかな 義男  
 魚はわて春の光を掴みけり 律子  
 白木蓮のこぞりて天にひらきけり 一翠  
 蔵の窓ひとつ開けおく梅日和 けんじ  
 梅の香のただよふ間に慧星を待つ 多佳  
 追憶にひたりて櫻めでにけり チエ子  
 耕人も稲架木も遠く陽炎へる 富代  
 秋終り宮司の談義春祭 きい  
 つきたての草餅ほどよく黄粉かけ 弘子  
 家守木の枝にかりし臘月 玲子  
 石垣をこぼれて咲きし芝桜 とし  
 失せ植糸を終へてたつぷり水を張る 洋子  
 低温の続き実らぬ莢豌豆 成子  
 藪椿素十の句碑を覆ひつつ 友佳  
 花冷えのぼつんと灯る屋台かな 麻世

奇祭ある山里餘花に埋れをり 舞子  
 尾ひれまで踊るが如く鯉鱗 水仙  
 崩れゆく牡丹の花の重さかな 飛浪  
 哇焼いて島を出られぬ運命なる 素明  
 完全に燈りきるかに息絶えて姉は逝きたり花冷えの宵 小林 信  
 田植終へ郭公の声さえ渡り 鹿島 トイ  
 風薫る湯沢の宿の湯の香り 鈴木 ハツ



ガクアジサイ

# 食

郷土料理

## 食生活改善推進委員会

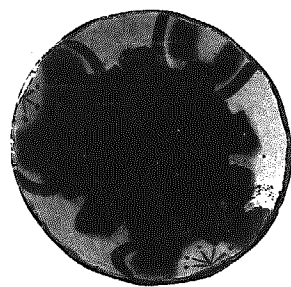
### いわしのかば焼き風

時節により、さんまもご利用ください。

### 作り方

- ①いわしは手開きにして、中骨を取り除く。水気をふいて両面に小麦粉をまぶす。
- ②大きめのフライパンにサラダ油大さじ1½を熱し、いわしを皮目を下にして、4尾並べる。中火でゆっくりと焼目をつけ、返して中まで火を通す。
- ③調味料をよく合わせた半分を、一度に②に加える。フライパンをゆすりながら、いわしにからませる。残りの4尾も同様にする。
- ④ねぎは長さ4〜5センチにきり、切り開いてしんを取る。縦にせん切りにし、水にさらしておく。しばらくしてしぼる。(さらしねぎ)
- ⑤器にいわしを盛り、粉さんしょうを振りかけ、さらしねぎとすだちをそえる。

1人当たり  
 エネルギー444キロカロリー  
 塩分2.6g



### 材料4人分

- いわし.....8尾
- 長ねぎ.....1本
- 粉さんしょう.....1ケ
- すだち(レモン).....1ケ
- 油.....大さじ1½
- 小麦粉.....大さじ4
- さとう.....大さじ3
- しょうゆ.....大さじ3
- みりん.....大さじ2
- 酒.....大さじ1



といわずに「サマーギフトコーナー」などというところも増えてきました。  
 中元の贈答品は、ビール、そうめんなどの乾めん、ノリ、調味料などの食品関係が多いようです。最近では健康食品や手作り製食品などのこだわりの品も登場しています。

ところで、夏にはおいしいものがたくさん出回ります。とれたてのトウモロコシやスイカにかぶりつくのは快いものですが、歯が悪かったり痛かったりしてはどうしようもありません。六月四〜十日は、「歯の衛生週間」です。虫歯

や、歯槽のうろろうの早期発見・早期治療に心がけたいものです。

# 寿通信

第37号

## 寿学級春季ゲートボール大会

五月十六日(内うす曇)。寿学級ゲートボール大会でした。  
 この大会もすっかり恒例となり、春・秋・早春(三月)に年三回スティックとボールのぶつかり合う音、威勢のいい喚声が聞こえます。  
 この日は風は少し強かったけれど好天に恵まれ、体いっぱい春を感じることのできる日でした。

ゲートボールは第一から第三ゲートを通し、最後はコート中央のピンにボールを当てて上がり、得点を重ね、その多い方のチームの勝ち。  
 ……となる訳だけでも、先ず第一ゲートを通らない、ゲートは通ったけれど後から来た相手チームに蹴ちらされて陣をたて直すのに四苦八苦、なんて展開は常で、稀にやっとのことでこっかが第一ゲートを通って次のゲート付近で足並みを揃えたと思ったら、既に相手は皆上がっていたとかもありました。

何でも競技時間は大人は通常三十五分だそう、試合数が多いなど三十分の場合もあり、小学生等の競技の場合は二十分で行うこともあるそうです。



試合も順調に進み、取り分け厳しかった今年の冬がやっと終わり、漸く訪れた春を喜びながら皆でお昼を楽しみ、また今年も一年互いにかんばろうと語り合った一日でした。

入会希望は社会教育課へ  
 ☎377-3101